※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史探究」　（実教出版）						
副教材等	世界史探究マイノート　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した歴史総合は近現代を範囲としたが、世界史探求は古代史からの学習になる。
・地域ごとの歴史の事象などを学び、特徴をまとめる。
・時代とともに、地域の拡大、地域の連携・統合が起こるがそのプロセスを学び、より広い地域の特徴をまとめる。
・統合された結果、どのような発展があったのかを考察する。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の発展について学び、国際社会に主体的に生きる公民として必要な知識、理解力、共感する能力を養う。
・歴史の発展について、その地域の特徴を学ぶことで、現代にも応用できる地域・民族のもつ特徴を理解し、共感できるようにする。
(1)諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3)よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	世界史について、世界と日本を相互的な視野からとらえ、理解している。 諸資料から、様々な情報を調べまとめる技能を身につけている。	世界史について、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題の解決を視野に入れて構想したり、説明、表現している。	世界史に対する関心を高め、主体的、意欲的に追求しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	1節．諸地域の歴史的特質の形成	1.古代文明 ・農耕と牧畜のはじまり ・オリエント文明 ・インダス文明 ・中国文明	a: オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 C:オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

		2.東アジアと中央ユーラシア ・春秋戦国時代の変動 ・中国古代帝国と東アジア ・中央ユーラシアの国家形成 ・胡漢融合帝国の誕生	a: 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
		3.南アジアと東南アジア ・インド古典文化の形成 ・古代の東南アジアと海のシルクロード	a: 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

2学期		4．西アジアと地中海周辺 ・オリエントの統一 ・ギリシア文明 ・ヘレニズム時代 ・ローマ帝国 ・西アジアの国々と諸宗教	a： 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b： 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c： 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
	2節:諸地域の交流と再編	5.西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成 ・ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ・ラテン＝カトリック圏の形成と展開 ・イスラーム圏の成立	a： キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b： キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c： キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

	2節･諸地域の交流と再編	6.イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容 ･イスラーム圏の多様化と展開 ･ラテン･カトリック圏の拡大 ･ラテン･カトリック圏の動揺と秩序の変容	a: 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
		7. 中央ユーラシアと諸地域の交流・再編 ・中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 ・モンゴル帝国の成立 ・東南アジア諸国の再編 ・海域世界の展開と大交易圏の形成	a: 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		8.大交易時代 ・明と東アジア ・ヨーロッパの海外進出 ・大交易時代の海域アジア	a：アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
		9.アジア諸地域の帝国 ・中央ユーラシアと西アジアの帝国 ・イスラーム都市の繁栄 ・南アジアの帝国 ・東南アジア諸国の発展 ・清とアジア	a：西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		10.近世ヨーロッパの形成と展開 ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・近世ヨーロッパの経済と帝国の交代 ・激化する覇権競争 ・近世ヨーロッパの社会と文化	a: 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
	3節 諸地域の結合と変容	11.産業革命と大西洋革命 ・イギリスの産業革命 ・南北アメリカの革命 ・フランス革命とナポレオン帝政	a: 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

		12.近代ヨーロッパ･アメリカの国民国家 ･ウィーン体制と 1848 年の革命 ･19 世紀後半のヨーロッパとアメリカ ･19 世紀のヨーロッパ･アメリカの社会と文化	a：19 世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：19 世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：19 世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
		13.地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗 ･ヨーロッパの帝国主義 ･アメリカの帝国主義 ･西アジアの改革運動 ･アフリカの分割と抵抗 ･インドの植民地化と民族運動 ･東南アジアの植民地化と民族運動 ･東アジアの国際関係の再編	a：　第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：　第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：　第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		14.第一次世界大戦と諸地域の変容 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制と国際協調 ・アジアのナショナリズムの台頭	a: 第一次大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている b: 第一次大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
		15. 第二次世界大戦と戦後の国際秩序 ・世界恐慌とファシズム ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦 ・戦後の変革と冷戦のはじまり	a: 世界恐慌とファシズムの動向，第二次大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 世界恐慌とファシズムの動向，第二次大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 世界恐慌とファシズムの動向，第二次大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		16.冷戦と現代社会 ・冷戦下の安全保障体制 ・脱植民地化と非同盟 ・冷戦の終結と現代世界	a: 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。			
		17.世界経済の展開 ・冷戦と経済統合 ・第三世界の経済 ・産業構造と社会の変化 ・グローバル化と新自由主義の時代	a: 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている			

※令和４年度以降入学生用

		18.科学技術の時代と知識基盤社会 ・地球環境の未来 ・バイオ、生命科学と私たちの生 ・ICT の発達と情報社会	a: 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度